

第4回-② 何のための報連相か

私たちは、普段の仕事をあまり何も考えず行っていることがあります。しかし、物事には必ず相手があり、その目的も存在するのです。何のためにこの報連相を行うのかを考える必要があります。

【相川印刷の誰？】

課長は重要な会議で席を外しています。そこへ見覚えのある相川印刷の担当者がやってきました。

担当者 「ちょっと矢島課長にご相談したいことがあるんですが…、お席外しですか？」

佐藤さん 「はい、今、会議に入っております・・・」

担当者 「少しで結構ですので、お取次ぎ願えませんか？」

佐藤さん 「わかりました。メモを入れてみます」

矢島課長様
今、相川印刷の方がお見えに
なっています。
ご相談したいことがあるとの
ことです。

佐藤さんは、担当者を応接室に案内した後、
会議室の矢島課長にメモを入れました。

・・・これでよし！

矢島課長 「相川印刷のだれ？」

佐藤さん 「さあ…、時々来られる眼鏡をかけた方です」

矢島課長 「眼鏡って…で、相談ってなに？急ぐのかな？」

佐藤さん 「さあ、それは…(そんなこと私に聞かれても)」



しょうがないなあ(><)

- ◆あなたならどのように伺ってメモを入れますか？(個人ワーク)
(右のメモを完成させてください)。⇒

【メモ】

©糸藤正士

- ◆では、あなたはどのような目的で、右のメモを書きだしたのでしょうか？⇒
考えてください。(個人ワーク)

【佐藤さんの目的】

- ◆佐藤さんの報連相の問題点は何だったのでしょうか？(グループワーク)

【友人の家に遊びに行ったとき・・・】

一緒に料理をしようという話になり、友人が、
「玉ねぎを切ってくれ」と言いました。
あなたは、どう切りますか？ ⇒

【玉ねぎの切り方(絵を描いてください)】

※仕事は、手段思考ではなく、常に()思考で取り組むこと